学校番号	119

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の各分野について、１年生で行ってきた、自らの感性に問いかけながら形にしていくという作業をさらに発展させ、様々な素材や技法を通じて表現の広がりを学んでいきます。
・「鑑賞」についてもただ作品を見るのではなく、能動的に関わりながら作品を感じ、また感じたものを第三者に伝えるということを、表現のトレーニングとしてゲーム的な要素を交えながら学んでいきます。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	表現とは？	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子
	思い出して描こう〇〇	【絵画】【鑑賞】 ・表現トレーニングワークシート。身近なものから、あまり目にする機会の少ないものまでをお題にし、記憶をたよりに様々なモチーフを描く。 ・描いたものを見せ合い、お互いの違いを確認する。	○ ○		○	○	a:課題に関心を持ち、モチーフの形状や構造など、記憶をたよりに表現しようとしている。 c:記憶の形をたどりながら、線で描き起こしているか、描いたものと記憶のかたちを照らし合わせて、違いに反応して突き止めようとしているか。 d:できた絵をお互い観ながら、どこが違っていたのか確認する。	ワークシート 制作の様子
	阿武野高祭ポスターの製作	・9月開催の文化祭広報ポスターをデザインする。 ・過去の作品を鑑賞 ・記載する内容など条件を理解し、キャッチフレーズやレイアウトを考える。 ・作品を制作する ・出来上がった作品を展示し、投票でその年の広報ポスターを決定する。	○ ○ ○	○	○	○ ○ ○	a:ポスターデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

2学期	絵に命を吹き込む！プラキシノスコープ	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・参考作品鑑賞 ・アニメーションの原理を理解し、ひとつの形を使って、8コマでバウンドする動きをつける。 ・8コマでループする動きを製作する。 ・相互鑑賞	○ ○	○	○	○ ○	a:アニメーションの原理、歴史を理解し、興味関心を持って主体的に取り組もうとしている。 b: アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、表現形式の特性、形や動きなどの働きを考えて構想を練っている。 c: 目的や意図に応じて表現形式の特性を活かし、動き見せ方を工夫して、表現している。 d: 作者の意図や表現の工夫、動きのよさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	ワークシート 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子や発言内容
	ピクトグラムで自己紹介	【デザイン】【鑑賞】 ・参考資料の鑑賞 ・自分の好物や苦手なもの得意なことなど、何を形にするかを構想する。 ・アイデアスケッチ。表現するものを単純化し伝わる形、構図にまとめる。 ・制作 絵の具を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテージョン（全体）	○	○	○	○	a:絵文字の目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b：自己分析から、主題を生成し創造的な表現の構想を練れている。 c:目的や意図に応じて表現方法を工夫して、目的や計画を基に適切な表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を豊かにする表現や作品などついて理解を深めている	ワークシートのアイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

	相手が観ている絵はどんな絵？	【鑑賞】 ・2グループに分かれ、2枚の絵を鑑賞する。それぞれどのような絵を見ているかを言葉で伝え合い、どのような絵を相手が観ているかを再現して描く。 ・お互い質問をし、メモを取って絵を予想する。	○			○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
3学期	鋳造でつくるアクセサリー	【彫刻】【鑑賞】 ・見本作品鑑賞 ・鋳造の製作工程を理解し、ペンダントまたはリングのデザインを考える。 ・元型、型取り、鋳造、研磨、いぶし仕上げ ・出来上がった作品を相互鑑賞	○ ○	○	○	○ ○	a:素材、技法に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）
の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。